

神戸六甲物流センター見学会 主な質疑応答

日時 : 2024年1月10日(水) 13時30分~15時10分
場所 : (株)キョクレイ神戸六甲物流センター
登壇者 : (株)ニチレイロジグループ本社執行役員 兼 (株)キョクレイ代表取締役社長
堀内 博文
(株)キョクレイ神戸六甲物流センター所長 成田 大樹
(株)ニチレイ取締役上席執行役員 鈴木 健二
(株)ニチレイ広報IR部長 宮腰 保志

Q. 神戸六甲物流センターで保管する貨物について、すでに計画通りの物量は確保できているのでしょうか。

A. 関西エリアで他社へ再保管している貨物がありますので、そういった貨物を神戸六甲物流センターへ移管します。また、既存の物流センターがある横浜エリアでは、一部関西エリア向けの商品を取り扱っている顧客もいることから、今後は関西エリア向けの貨物は横浜ではなく直接神戸港で揚げて、神戸六甲物流センターに保管します。その分横浜エリアでの保管量は減ることになりますが、新規顧客の獲得や、再保管貨物の引き戻しなどで、物量を確保していく予定です。

Q. 御社は倉庫内作業のデジタル化による省力・省人化や業務効率化を進めてきた認識ですが、現場で起きた変化について教えてくださいませんか。

A. 例えば貨物の入出庫情報について、従来はすべて紙で管理し、事務所と現場の情報のやりとりも紙の受け渡しによって行ってきましたが、タブレット端末の活用などによるデータ化を進めたことで、紙での受け渡しが不要となり、事務所と現場の業務負担が軽減され、情報管理の精度も向上しています。また、過去の入出庫データは、今後の入出庫予定と組み合わせることで、当日必要な要員数や要員配置を検討する際にも活用しています。

Q. 既存の大黒物流センターは敷地面積約14千㎡に対して収容能力が約56千トンですが、神戸六甲物流センターは同程度の敷地面積に対して収容能力が約27千トンとなっています。今後の需要の高まりによっては増設の可能性もあるのでしょうか。

A. 空き地として残している部分があり、今後の需要や取扱物量も見極めたうえで、増設の必要性を判断していきたいと考えています。

Q. 神戸六甲物流センターの投資金額と投資回収の計画を教えてくださいませんか。

A. 投資金額は約 93 億円です。投資回収については、物流センターの場合、新設倉庫単独の収支だけではなく、同じエリアの物流センターとのシナジー効果も考慮して試算し、取締役会で総合的に判断をして決定しています。

以 上

※当文書は当日の質疑応答内容をすべて記録したものではなく、株式会社ニチレイが編集を加えております。